

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025視察について

令和7年11月 定例教育委員会資料

国スポ・全障スポ推進室

1. 視察の目的

2028年度（令和10年度）開催の第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会に向け、岡谷市で行われる卓球競技及び3市町共同開催のトライアスロン競技、障がい者卓球競技について施設状況や運営状況の視察をし、担当者への聞き取り等情報収集を行う。

2. 視察状況について

○卓球競技

視察日：令和7年9月27～28日

会場：滋賀県野洲市 野洲市総合体育館



昨年、日程の都合で視察のできなかった監督会議を視察でき、状況や様子が確認でき参考となった。例年設置されている応援ののぼり旗については作成しておらず、応援メッセージのみが体育館内に掲載されていた。

皇族のお成りについて、ここ数年は卓球会場も視察をされており、野洲市の卓球会場には、三笠宮家の瑠子女王殿下が視察にお見えになりました。一般観覧席を一晩で皇族用に変更していた。

○トライアスロン競技

視察日：令和7年9月28日

会場：滋賀県近江八幡市 宮ヶ浜水泳場特設会場



小中学生によるのぼり旗の応援メッセージがゴールエリアを飾り、会場内ではメガホン型の付箋によるメッセージもあり競技を盛り上げていた。

地元小学生による、こども新聞の取材として、数名の児童が沿道で選手を撮影しており、児童がより迫力のある写真を撮るために、道に寝そべてカメラを構えていたりしているのが印象的であった。

○全障スポ卓球競技

視察日：令和7年10月25～26日

会場：滋賀県野洲市 野洲市総合体育館



選手及び選手の補助者や介助者が参加するため、バスの台数が多く駐車場はほぼバスのみの状況であった。

会場内も段差をスロープに変更するなどバリアフリー化している状況であった。

視覚障がい者の競技であるサウンドテーブルテニスについては、会議室を使い音の出るボールで競技を行うため、観戦についてはモニターでの観戦となり、体育館の外のテントで観戦をしていた。

運営主体は県となっているため、市職員は多い日で約30名の動員とのこと。

全障スポについては、初めての視察であり、会場のレイアウト等について工夫されているところや注意しているところが視察でき参考になった。

3. 視察の感想について

野洲市の体育館は岡谷市と比べ規模が大きく、基準の台数より2台多く設置がされていた。

また、駐車場も正方形に近い形をしており、バスの駐車も問題なさそうであった。

野洲市の職員に話を聞いたところ、経費削減のため、例年設置しているのぼり旗については一切実施していないとのこと、駅周辺等の装飾も最小限にとどめ、役員等の弁当以外については斡旋をやめ、大会プログラムの印刷はせずホームページに掲載するなど、経費削減について工夫していたため、岡谷市開催時の参考となるものであった。

トライアスロン競技については、海水浴場周辺をコースとしており、海と山に囲まれたコース設定であった。前日練習や当日において蜂に刺される選手が多数いたとのことで、コース整備においては周辺の状況にも注意が必要と認識できた。

地形の問題でコースが離れぎみであったため、チーム関係者や観覧者が沿道等で応援する姿が少なく感じた。

全障スポ卓球競技については、体育館内に点字ブロックやスロープが設置されており、全ての方が安心して安全に通行できるようにしてあった。

運営の主体は県の職員であり、市の職員については協力という立場であるとのことで、県の職員の指示により行動しているとのこと。

今回、視察をして岡谷市としての課題や参考になることがあり、また、担当職員からも詳細な聞き取りができたことは良かった。

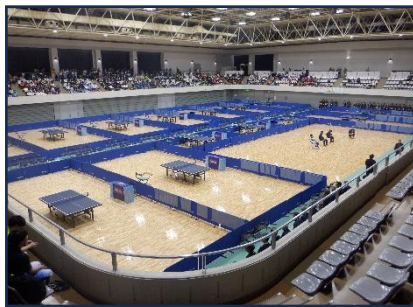
2028年の開催に向け、岡谷市の特色を生かしつつ、創意工夫をしながら準備を進めていきたい。

各競技会場の様子

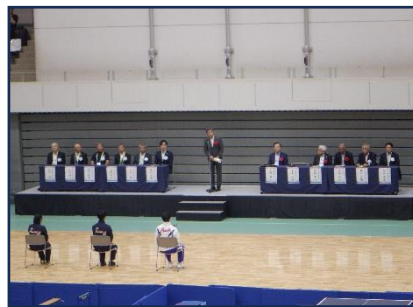
○卓球競技会場



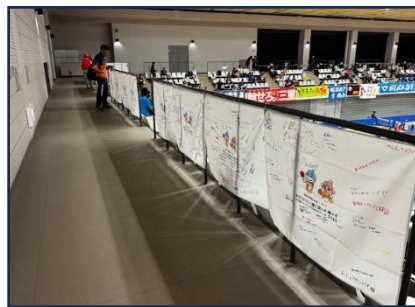
前日監督会議の様子



開会式の様子（全景）



開会式滋賀県知事あいさつ



会場内に掲載された寄書き



歓迎パネルと花いっぱい運動



お成り用装飾

○トライアスロン競技会場



スイムの様子



スイムからバイクへ



バイク折り返しの様子



休憩所での大型モニター観戦



ゴールの様子



フィニッシュロードの応援旗

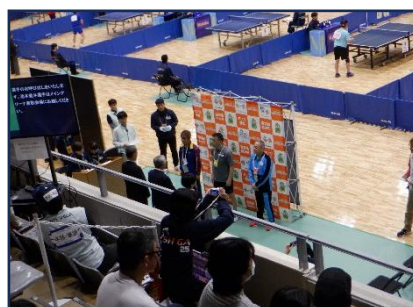
○全障スポ卓球競技会場



試合の様子



モニターによる観戦の様子



表彰式の様子